

**大西卓哉宇宙飛行士搭乗の
米国クルードラゴン宇宙船運用 10 号機の帰還について
〔内閣府特命担当大臣(宇宙政策)談話〕**

本日、大西卓哉宇宙飛行士が、国際宇宙ステーション(ISS)での、約5か月間にわたる長期滞在を終え、クルードラゴン宇宙船運用 10 号機にて、他の搭乗員とともに、無事、地球に帰還されました。

心から喜ばしく思うとともに、大役を果たされての御帰還に敬意を表します。

大西飛行士は、日本実験棟「きぼう」の実験運用や ISS のシステム運用、今後の宇宙探査を見据えた技術実証、宇宙環境を生かしたライフサイエンス研究など、様々なミッションに取り組まれたことに加え、大阪・関西万博における ISS 上からのリアルタイム交信など、特に若い世代の方々に対して、宇宙や科学技術への興味・関心を喚起する取組を進められました。

また、今回の滞在期間中に、大西飛行士は日本人では3人目となる ISS 船長に就任され、搭乗員の安全を確保しつつ、ミッション全体の成功に向け、搭乗員を統括・指揮するという重要な役割を担われました。

大西飛行士を始めとする日本人宇宙飛行士の活躍は、我が国の大きな誇りです。今後も大西飛行士には、我が国の宇宙飛行士の先達として、ますますの御活躍を期待申し上げます。

令和 7 年 8 月 10 日
内閣府特命担当大臣(宇宙政策)
城 内 実